

真実を見抜くレンズ： クリティカルシンキングと読解力

探究活動のスタートライン「課題発見」のための完全ガイド

情報を鵜呑みにせず、隠された真実を
あぶり出す思考のツールキット

【警告】この危険物質を規制すべきか？

あなたが厚生労働大臣なら、以下の報告がある「物質X」を規制しますか？

犯罪との関連

受刑者の90%以上が犯行前に摂取

致命的な事故

新生児や高齢者の窒息事故が多数

負の相関

よく摂取する子供はテストが平均点以下

強力な依存性

摂取を止めると2日以内に激しい禁断症状



印象操作の罠： 事実を変えずに、 見え方を変えるマジック



真実の開示

物質Xの正体は「お米」です。提示されたデータはすべて「事実」ですが、極めて偏った切り取り方をされています。



なぜ騙されたのか？

もっともらしいデータや権威ある言葉を前にすると、人は直感で判断し、思考停止に陥りやすいからです。



解決の糸口

クリティカルシンキング（批判的思考）

先入観に囚われず、論理的に考え、合理的な決定を導き出す能力。「正しく疑う」ための読解力です。

思考の落とし穴の正体： 「隠れた前提」を見つけ出せ

事実A

A君は徳島の人だ

見えない思い込み（隠れた前提）：「徳島県民は全員阿波踊りがうまい」

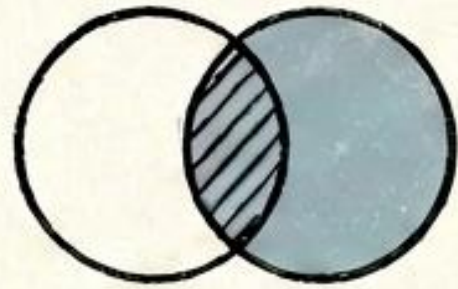
結論B

A君は阿波踊りがうまい

先月引っ越してきたばかりかも？

誤った結論のほとんどは、情報そのものではなく、事実と結論をつなぐ「見えない橋（隠れた前提）」が脆いことによって発生します。読み手として、この橋を叩いて渡る習慣が必須です。

よくある論理の罠（ロジック・トラップ） 3選



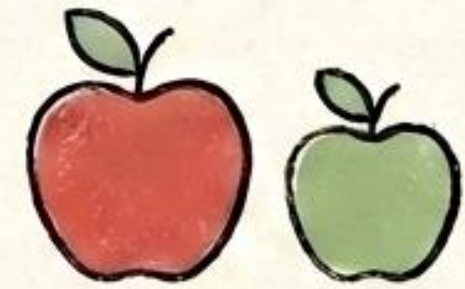
相関と因果の混同

相関と因果の混同が起こると、結果が偏ることがある。



感情的な飛躍

感情的な飛躍とは、自分の感情を排除することができないこと。



比較条件のズレ

比較条件のズレによって比べていることになっていない。

選択バイアス

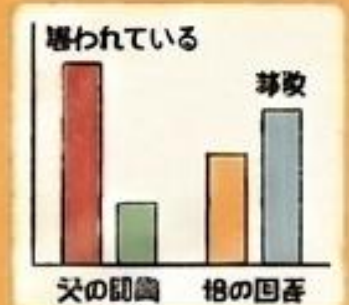
データ収集の時点で、特定の対象が選ばれやすく(または選ばれにくく)なっており、結果が偏ってしまうこと。

別の可能性の排除

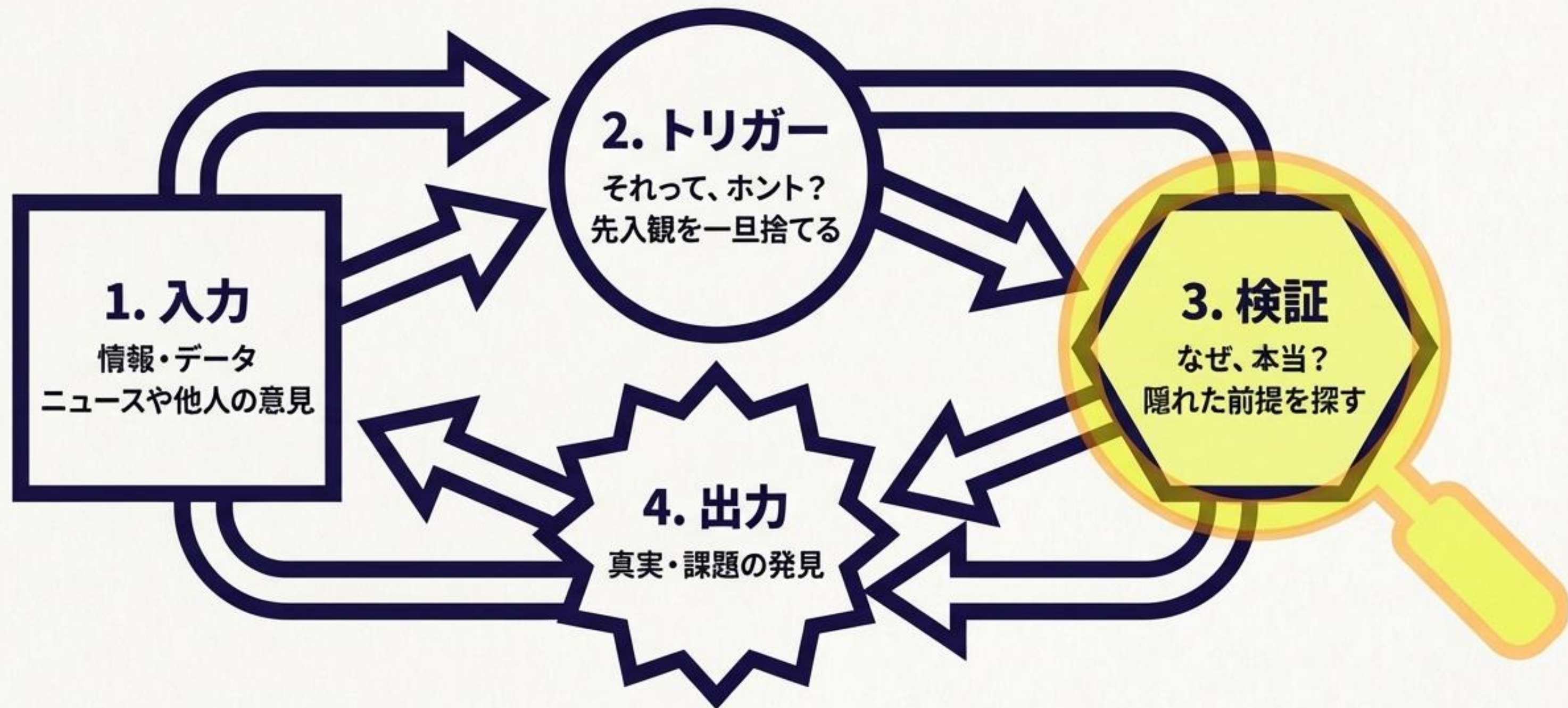
ある結果に対して、他の有力な原因や説明を考慮せず、一つの可能性だけを真実と思いこむこと。

ズレた母集団

調査対象(サンプル)が本来知りたい全体の集団(母集団)の性質を正しく反映していないこと。



読解力は「受け身」ではなく「能動的な尋問」である



探究活動は「課題発見」から始まります。学術的な文章やデータを扱う際、このループを回し続ける「読解力」こそが、皆さんの最強の武器になります。

